

【京丹後市】
ネットワーク整備計画

1. 必要なネットワーク速度が確保できている学校数、総学校数に占める割合（％）

「校内通信ネットワーク環境整備等に関する調査」（文部科学省・令和５年１１月実施）の結果では、「学校規模ごとの当面の推奨帯域」（文部科学省・令和６年４月）を超える学校数は２校であり、総学校数に占める割合は、9.1％（２校/22校中）である。動画の同時再生等、ネットワーク負荷の大きい場合に遅延の報告を受けることがあるが、通常使用では支障なく端末の活用ができています。

2. 必要なネットワーク速度の確保に向けたスケジュール

（１） ネットワークアセスメントによる課題特定のスケジュール

本市のネットワークは行政イントラネットを使用したセンター集約型となっており、令和６年１０月に市の情報システム担当課及び学校ネットワークの保守業者と協議し、ネットワーク速度の遅延については、ローカルブレイクアウト型への切り替えやネットワーク機器の更新で改善できることがわかった。令和７年度以降、端末更新（OS変更）に伴う活用方法の変化も踏まえ、各校のネットワーク状況を確認しながら、必要な対策を講じる。

令和７年１０月：各小中学校ネットワーク状況（ヒアリング等）調査

（２） ネットワークアセスメントを踏まえた改善スケジュール

ネットワークアセスメントの結果を踏まえ、以下改善スケジュールで改善を進めていく想定である。

- ・ 令和７年１０月：各小中学校ネットワーク状況（ヒアリング等）調査
- ・ 令和８年４月以降：ローカルブレイクアウト型へ切り替え（調査結果による）
ネットワーク機器の更新（スイッチ、ルーター等）
- ・ 令和８年１０月以降：改善調査

（３） ネットワークアセスメントの実施等により、既に解決すべき課題が明らかになっている場合には、当該課題の解決の方法と実施スケジュール

令和６年１０月に市の情報システム担当課及び学校ネットワークの保守業者と協議を行い、ネットワーク速度の遅延については、ローカルブレイクアウト型への切り替えやネットワーク機器の更新で改善できることが分かったが、令和７年度以降、端末更新(OS変

更)を予定していることから、端末更新後の令和 7 年 10 月に、改めて各小中学校ネットワーク状況（ヒアリング等）調査を行い、その時の状況を踏まえて課題を改めて確認し、令和 8 年 4 月以降にローカルブレイクアウト型へ切り替えや、ネットワーク機器の更新（スイッチ、ルーター等）を行う予定である。